

資料 2 – 2

第6回検討会資料

濃度基準値検討物質の初期調査結果

修正案

※ 別紙表中の GHS 分類欄の「区分外」の表記は、JIS Z 7252:2019 (GHSに基づく化学品の分類方法) における「区分に該当しない」に相当する。

初期調査結果評価

専門家会議付議日： 2025/9/8→2025/10/27

物質名		塩化亜鉛	CASRN	7646-85-7			
詳細調査の要否		<input checked="" type="checkbox"/> 不要 <input type="checkbox"/> 要					
濃度基準 値の提案	八時間濃度基準値 : (単位 :)						
	短時間濃度基準値 : 4 (単位 : mg/m ³) <input checked="" type="checkbox"/> 天井値						
不要 の 場 合	根拠論文 等	1) CULLUMBINE H. The toxicity of screening smokes. J R Army Med Corps. 1957 Jul;103(3):119-22.					
	コメント	<p>ヒトボランティア（性別、人数不明）に HCE-smoke 混合物（ヘキサクロロエタンと酸化亜鉛、ケイ化カルシウムの混合物による発煙弾）由来の塩化亜鉛を 2 分間吸入ばく露した結果、120mg/m³ばく露では咳を伴う鼻・喉・胸部の刺激症状および嘔気が認められ、80mg/m³ばく露では大多数に軽い嘔気が、1～2 人に咳が認められた 1)。なお、80、 120mg/m³は亜鉛換算でそれぞれ 38、57mg Zn/m³である。</p> <p>以上より、ヒトの知見から、軽い吐き気、咳等の刺激症状を臨界影響とした LOAEL を 80mg/m³ (38mg Zn/m³) と判断し、不確実係数等を考慮した 4mg/m³ を短時間濃度基準値として提案する。なお、急性中毒の懸念があることから、天井値とした。</p>					
要 の 場 合	その理由	<input type="checkbox"/> レビュー文献間におけるキー論文の量反応関係が、同じ標的健康影響において大幅に 異なり、無毒性量等の検討に際して追加の文献調査が必要であるため <input type="checkbox"/> レビュー文献間におけるキー論文のばく露シナリオ・標的健康影響が異なり、今回のエンド ポイント設定に際して追加の文献調査が必要であるため <input type="checkbox"/> その他 ()					
その他のコメント							